



シルバーいなぎ

平成 23 年 7 月 1 日発行
第 44 号
稲城市シルバー人材センター
広報委員会

公益社団法人の認定を受けて 平成 23 年 定期総会開催される

平成 23 年 6 月 29 日、稲城市中央文化センターホールにおいて、平成 23 年 定期総会が開催されました。



はじめに、挨拶に立った三澤会長が、公益社団法人としての新しい環境の中で、センターの発展のために、

一層力を合わせましようと呼びかけ、続いて役員・地区長・入会 10 年会員の表彰（別表）が行われた後、資格審査、議長選任を経て議題に入りました。

☆第 1 号議案

「総会議事運営規則（案）」について宮澤常務理事から提案説明が行われました。規則（案）骨子は以下の通りです。

- ①総則（目的・義務） ②役員・会員の出席義務、③議長の資格等、④議事（開会・審議・発言・説明・動議・決議等）

☆第 2 号議案

「平成 22 年度事業報告」

平成 22 年度事業実績は前年実績比・目標比ともに若干下回りました。これは長引く不況や、東日本大震災の影響によるものと思われます。一方、会員数は前年比 35 名増の 679 名となり、このところ増加傾向です。

こうした環境の中で、センターは新規事業開発や適正就業推進のために努力し健康管理や安全対策にも注力したとしています。

また昨年度は、設立 30 周年という節目の年を迎えて記念事業を行い、記念誌を発行するとともに、新しい公益法人移行に向けて大きな転換・飛躍の年でもありました。

☆第 3 号議案

「平成 22 年度一般会計決算内容」については適正に表示されていると審査報告され、1 号議案とともに賛成多数で承認されました。

なお総会出席数 334 名、委任状 230 名、でした。



公益社団法人初の総会
会場は活気にあふれ満席

◆役員・地区長・10 年表彰者に表彰状と記念品が贈られました。（敬称略）

✿役員表彰

清水 敏夫 工藤 とく子 川田 博彌 石井 明子

✿地区長表彰

鈴木 浩 鈴木 幸義

✿10 年表彰

岡崎秀盛	中川 孝	前田 力	木下英夫
田中久子	林 久雄	久保田弘	川崎清治
原田栄子	富澤松二郎	芹沢正夫	大島フミ子
篠崎チヨ子	高岡 功	薄井かつみ	森 高秀
佐藤スイ子	石井明子	矢澤リウ子	上原一由
国府田 勇	山本智子	森田弘一	亀岡義夫
廣田雄三	関谷孝子	海老根正明	丸田紀子
佐原あさ代	佐藤けさ子	三谷賢一	篠部綾子
青地道子	遠藤吉彦	小徳登志子	熊切和正
小田切園子	町田光一	荒井英一	大塚孝一
中村 進	片桐正子		(42 名)

平成 23 年 定期総会出席状況

地区名	会員数	出席数	委任状
矢野口	127	63	41
押立	48	23	20
東長沼	101	57	23
大丸	107	50	35
百村	38	24	12
向陽台	74	33	26
坂浜	20	14	5
平尾	104	44	47
長峰	40	19	13
若葉台	17	7	8
合計	676	334	230

※有効出席率 (334+230) ÷ 676 = 83%

希望職種交代要員募集のご案内

《希望職種》グループの交代要員を募集しております。

この職種は無償の研修期間があり、役員・発注者による面接があります。研修は交代月の約1カ月前から行います。

《希望職種》 詳細は事務局まで

グループ	人員	就業時間	交代月
ふれんど 平尾受付	1名	9:30~ 13:30	9月
文書整理	1名	12:00~ 16:30	9月
第四文化 センター受付	1名	ローテー ション	11月
地域振興 プラザ受付	1名	ローテー ション	11月

※申込み締切日は交代月の2カ月前の末日迄です。

公益社団法人 稲城市シルバー人材センター
所在地 稲城市東長沼 2 1 1 2 - 1
稲城市地域振興プラザ 3 階
電話 3 7 7 - 2 2 1 2 FAX 3 7 7 - 7 6 9 2

5月31日現在 会員数 672名
(男性: 466名 女性: 206名)
受託件数 202件 (4月) 243件 (5月)
就業実人員 461名 (4月) 463名 (5月)
契約金額 21,669,755円 (4月)
22,827,465円 (5月)

安全対策推進員会議開催される

平成 23 年 6 月 17 日、稲城市地域振興プラザ 4 階会議室において開催されました。

(出席: 52 名、欠席: 4 名)

新井田安全管理委員長の開会挨拶に続き、三澤会長より、公益社団法人の新定款の下で、全ての運営を会員・役職員が一丸となって広く市民の信頼を獲得し、当 SC の発展に努力をお願いしたい旨の挨拶がありました。



安全対策推進員会議

会議は平成 23 年度実行計画説明、安全対策推進員の役割説明、平成 22 年度の事故報告がありました。また、植木 G・草刈り G・多摩カントリー G・環境美化 G (矢野口班) の 4 グループの安全に対する取組み発表がありました。

質疑応答の後、ビデオ(蜂対策)を上映し、宮澤事務局長の閉会の挨拶で幕を閉じました。

◆平成 23 年 6 月 17 日現在の事故情報: 2 件の傷害事故が発生しております。

◆稲城市立稲城第一中学校(2 年生 3 名)が、6 月 15 日から 6 月 17 日の 3 日間、職場体験ということで 2 日間は環境美化グループのお手伝い、3 日目は安全対策推進員会議の受付のお手伝い、その他事務補助の体験をしました。

会員の入退会 期間: 4 月 1 日 ~ 5 月 31 日

地区	入会者	退会者
矢野口 1、2、3	4	3
押立 1、2	3	なし
東長沼 1、2	3	7
大丸 1、2	1	6
百村	1	1
向陽台	4	2
坂浜	なし	1
平尾 1、2	1	3
長峰	1	1
若葉台	なし	1
合計	18 名	25 名

公益社団法人最初の地区長会

平成 23 年 5 月 25 日(水)午後 2 時より稲城市地域振興プラザ 4 階会議室で、平成 23 年度第 1 回地区長会議が開催されました。会長、副会長、常務・各理事、監事、地区長の計 25 名が出席しました。



会長の挨拶を聴く地区長さんたち

○会長挨拶要旨

- ①きょうは公益社団法人として、初めての地区長会となる。今年度から理事の担当も出身地区ではない。地区割りの概念でなくシルバー全体を考えてほしい。秋の職員・地区長交流会は廃止。地区長会の場で理事・地区長の交流を深めてほしい。
- ②地区長、地区担当理事の自己紹介に続き、会長より 3 役、各部長、委員長の紹介が行われました。

○報告事項

- ①山崎次長より平成 23 年 2 月・3 月・4 月の実績報告がありました。
- ②宮澤常務からは定期総会（議案書）に上程した、3 議案について詳しい説明と総会出欠用ハガキ記入方法、委任状部分の記入の仕方について説明がありました。
- ③「地区運営マニュアル」について宮澤常務理事から説明がありました。

○配付物の説明

大谷主任より全会員用配付物、会員状況調査票、会費等の納入について、布ぞうり講習会案内チラシなど 9 点の説明があり、地区長会は終了しました。

≪理事會報告≫（抜粋）
第 4 回 6 月 24 日(金)午後 2 時より

- 【事務局報告事項】
 - ・業務報告・退会報告
 - ・事業実施状況報告(5 月分)
- 【研修報告】
 - ・新任理事研修
- 【委員会報告】
 - ・女性就業推進委員会
(布ぞうり講習会の件)
 - ・安全管理委員会
(安全対策推進員合同会議の件)
- 【承認事項】
 - ・新入会員の承認

市内一斉 防犯パトロールのお知らせ

安全・安心まちづくり推進協議会が主催する平成 23 年度の夏季防犯パトロールが 7 月 21 日(木)に決まりました。多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

集合場所と時間は次の通りです。
平尾交番前(18:00) 稲城駅南口(18:30)
矢野口駅南口(18:50) 南多摩駅北(19:10)、
若葉台交番横(19:40)の順となります。

詳細はチラシをご覧ください。

7 月は全都安全強調月間です

東京都が指定する「安全強調月間」です。昨年度来「安全はすべてに優先する」「自分の身は自分で守る」を合言葉にしてきましたが、残念ながら今年も既に 2 件の事故が発生しています。

今年も安全意識を喚起する「安全ワッペン着用」「安全ステッカーの貼付」「就業場所への安全旗の掲揚」さらに「作業所・倉庫の点検」「安全視察」などを行います。これらの行事は側面支援であり、主役は就業する会員自身の意識です。

◆大震災被災者支援の義援金 日本赤十字社通じて送金

稲城市シルバー人材センターは、東日本大震災被災地の方々を支援するために救援募金に取り組んできましたが、このほど日本赤十字社を通じて第一回目の義援金をお届けしました。

センターでは引き続き支援活動を継続しております。振興プラザ 3 階のセンター事務局で“募金箱”を設置してお待ちしておりますので、金額の多少にかかわらず、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



会員のひろば

❖❖除草ボランティア❖❖ 「地域振興プラザ駐車場周辺」

6月14日梅雨空の下、8時45分からおよそ2時間にわたって、理事・職員・学習教室G・書道教室・リフォーム会員たちの手により除草が行われました。短時間ではありま



したが、きれいになり気持ちの良い汗をかきました。参加の皆様お疲れ様でした。次回はもっと大勢のご参加をお願い致します。

独自事業の第一歩 「布ぞうり講習会」実施される

女性就業推進委員会の事業として、6月21、22日の2日間「布ぞうり講習会」が開催されました。



参加の皆さんは暑さを忘れて「これは夏の足にとっても良いの!」と熱心に取り組んでいました。総勢18名の

参加となりました。これからは、公益的な観点からも、広く市民に親しまれる事業となることが求められています。

ともすると、趣味の延長と思われがちですが、絵手紙やPCと同様、市民の生活の充実につながる様なことが、センターの大切な役割とを考えます。



今年度会費納入期限は6月30日でした

引き落とされていない方は7月30日に引き落とします。残高をご確認ください。

趣味を訪ねて

予てからの会員の皆様の声に応じて、表題の通り、心を和ませる「趣味を訪ねて」のコーナーを設けてみました。限られた紙面のため掲載できない場合もありますのでご了承ください。今回は初回でもあり、少々大きな枠を設けました。

【俳句】 森本芙紀子さんの一言と作品

昭和45年、当時の教育長でもあり俳人である榎本吉重氏が馬場草童氏と共に「地域の女性達に俳句を教えましょう」と市役所から募集が出されました。その時、興味があり習おうと思い講座を受けました。始めは8人でしたが、俳句の作り方から指導していただきました。およそ1年後「草木瓜」と命名され今日に至っています。

やってみて、自然、花、事象等物事を良くみるようになりました。字を書くことも呆けなくて良いと思いました。

★ものの芽の生まれしことの一大事

★炎天のドア押す暗き喫茶店

《弔慰報》池田蔵之助さん
浅見治郎さん
菅野文助さん
平川ヨシノさん

編 集 後 記

先日のある出来事です。新宿から各駅停車のシルバーシートに座り、のんびりと稲城駅に向かっていました。正に青葉の眩しい車窓に癒されながらの至福のひと時でした。その時、前の座席に掛けている60代位の女性の携帯がけたたましく鳴りました。その女性は「もしもし、今電車の中なの…」と言ったので、電話は切るのだと思いました。しかし、3駅過ぎても4駅過ぎても甲高い声と耳障りな笑い声が車内に響いています。とうとう私は「ここは何処だと思っているのですか!」と言いました。女性は無視して話続けています。隣の男性も「やり過ぎですよ!」と言いましたが、その女性はとうとう携帯電話で話続けたまま降りて行ってしまいました。

若者の手本になれるよう、日々心美しく年を重ねていきたいと思いました。(t)